

歴史民俗資料館だより

令和8年1月号 瞳月 仙台市歴史民俗資料館



〒983-0842 仙台市宮城野区五輪 1-3-7 TEL 022-295-3956 FAX 022-257-6401



明けましておめでとうございます

旧年中は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
本年も皆様の御期待に応えるべく、仙台市歴史民俗資料館の職員一同、より一層業務に精励いたしますので、変わらぬ御支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

堤人形の「馬」

季節展示「仙台の正月」

■令和8年2月1日（日）までの展示です。

清々しい新年を迎ました。

季節展示「仙台の正月」では、仙台地方の正月行事や正月膳について御紹介しています。

また、仙台の伝統的な門松を再現したものを展示しましたので、ぜひ御覧ください。



総来館者数100万人達成！！

12月17日（水）に、仙台市歴史民俗資料館の総来館者数が100万人になりました。

仙台市立西山小学校の児童の皆さんによる見学により達成です。御祝いに、西山小学校の児童の皆さんと一緒に記念のセレモニーを実施しました。実は、先生方にはセレモニーを行いたいと伝えていたのですが、子供たちには伝えていなかったのでサプライズです。

マスコミも2社取材に訪れましたので、子供たちは笑顔でした。100万人達成の記念に、コマや竹とんぼ、紙風船などの昔のおもちゃをプレゼントしました。子供たちの笑顔を見てることができて、準備してきた職員も嬉しく思いました。

1月の行事です。ぜひ御参加ください。

○子ども講座 紙芝居「おらいのお正月」

1月10日（土） 11:00～、14:00～

※入館料が必要です。



○企画展「くらしの中の竹」展示解説

1月24日（土） 11:00～、14:00～

※30分程度の解説となります。入館料が必要です。

○冬のクイズラリー 1月18日（日）まで

※クイズに答えた方に、ささやかではありますがプレゼントを差し上げます。
どなたでもクイズに参加できます。

くらしのかたち 「衣の生活」 防寒着

防寒には重ね着が基本である。一般には着物の上に綿入襦袢（わたいれじゅばん）やどんぶく（綿入半纏）、つんぬき（袖無の綿入）を重ねて着る。どんぶくは縞木綿やにこにこ絣（かすり）の半纏で、紺無地の襟がつき、若い人は元禄袖、ほかの人は筒袖である、綿入なので暖かく重宝された。またつんぬきは袖がないので腕の動きがとても楽で活動的であった。

外出するときには、男はマントか二重まわしを上に来て、女は無地の毛織の角巻（かくまき）を頭から肩まですっぽり包んで着た。フランネルの赤ケット（赤毛布）もあった。子供を背負ってその上に着るねんねこ半纏は、袴（あわせ）か綿入で、格好の防寒着になったという。袖のない亀の子半纏は、だいぶん後になって出てきたものだということだ。



※袴（あわせ・・・裏地のついた着物のこと）

（参考文献：仙台市史 特別編6「民俗」）

「角巻」

「ねんねこ半纏」

